

次号予告

特集 慢性関節リウマチ

慢性関節リウマチの診断基準と病態生理

九州大・生体防御研究所 延永 正・他

若年性慢性関節リウマチの治療とリハビリ上の問題点

杏林大・小児科 渡 辺 言 夫

慢性関節リウマチにおける薬物療法……東京大・物療内科 橋 本 明

慢性関節リウマチの理学療法……甲州中央温泉病院 藤 本 欽也・他

慢性関節リウマチの作業療法（作業療法士の役割と自助具）

川崎リハビリ学院 東嶋美佐子・他

慢性関節リウマチ患者のためのパンフレット

国療東京病院付属リハビリ学院 矢 谷 令 子

日本リウマチ友の会……日本リウマチ友の会

とびら 養護・訓練と理学療法……府中養護学校 工 藤 俊 輔

講座 老人 10. 老人福祉従事者の現状と課題……都老人研究所 佐 藤 嘉 夫

障害児と母子関係 6. 聴覚障害児における母子関係

小林理学研究所 金 山 千代子

プログレス 切断指再接着術の進歩……福井医大 吉 村 光 生

リハビリテーション・日本聴能言語士協会……学芸大 飯 高 京 子

インフォメーション 身体障害者雇用促進協会

身体障害者雇用促進協会 小 野 隆

あんでな 作業療法士の必要数の推計……都心障センター 寺 山 久美子

第7回「理学療法と作業療法」賞・受賞論文

<入賞論文> 片麻痺患者の歩行スピードについて（100m歩行を獲

得した症例検討）……横浜市立リハビリ友愛病院 稲坂 恵・他

<準入賞論文> トレッドミル負荷に対する循環系反応の基礎的検討と

障害老年者の運動療法（トレーニング）の効果につ

いて……板橋ナーシングホーム 丸山 仁司・他

作業療法と有用性（アンケートによる患者の意識調査）

……虎の門病院・分院 前田 佳子・他

編集後記

1978年10月、今からちょうど4年前にカナダのリハビリテーション施設を訪れた時のことでした。日本人の作業療法士でカナダ人と結婚してアルバータ大学に勤務する Masako Walley さんの話に私は大変刺激を受けました。「人間のリハビリテーションの根本は性のリハビリでしょ。作業療法士はこの問題に大変熱心で、そのための自助具の開発にも打ちこんでいます。パンフレットや映画、ビデオなど視聴覚教材を沢山作って患者の指導に利用しています」と。残念ながら、時間の関係で実際の指導場面を見学できませんでしたが、そのうちきっと見せてもらうことを約束して別れました。その時、「いつか「理学療法と作業療法」誌に特集を組むことを提案しよう」と思いました。

本号は、そうした背景から企画されました。ところが、予想はされたことですが、

この問題のエキスパートが少なく、したがって執筆が探しが大変でした。とくに PT, OT でこの問題に真向から取り組んでいそうな人がみつからず、仕方なく(?) 遠くカナダから投稿をおねがいしました。先の Walley さんにおねがいして Benita B. Fifield 氏を御紹介いただきました。河内氏は東京都心障害者福祉センターで結婚カウンセラーをなさっている方で、御自身盲であるにもかかわらず内外のこの関係の文献研究に情熱をそそいでおられます。宮崎氏は新聞でも大きくとり上げられた脊損者同士の夫婦間の人工授精にわが国ではじめて成功なされた第一人者であります。長谷川氏、河野氏、三島氏それぞれの立場から貴重な御経験を寄せていただきました。リハビリテーションをやっている以上避けて通ることのできないこの問題の理解にお役に立てていただきたいと考えています。

(寺山久美子)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長五 味 重 春
埼玉県障害者リハビリセ
ンター所長砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長津 山 直 一
東京大学教授・整形外科水 野 祥太郎
川崎リハビリ学院長
(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部萩 島 秀 男
ペインリハビリテーシ
ョンクリニック高島平
整形外科大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター寺 山 久美子
都心身障害者センター富 岡 詔 子
加納若総合病院奈 良 勲
金沢大学医療技術短大福 屋 靖 子
筑波大学松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

安 達 克 己

池 田 俊 雄

伊 東 元 夫

宇都宮 初 幸

大 丸 子 翼

鎌 倉 矩 子

紀 伊 克 昌

木 村 信 子

駒 沢 治 夫

佐 藤 智 明

嶋 田 明 子

鈴 木 昌 家

関 橋 正 明

高 屋 久 隆

中 橋 元 隆

橋 元 隆

藤 沢 しげ子

矢 谷 令 子

山 下 隆 昭

(担当 細田・西塚)